北東京6区の産業活性化支援策

豊島区

ものづくりメッセ開催

としまものづくりメッセの様子（昨年3月開催）

東京都豊島区は2010年4月に官民協働による「としまビジネスサポートセンター」を開設した。巣鴨信用金庫など地域金融機関などと協力して、融資から経営相談までワンストップで提供できる。中でもセンターに常駐するビジネスコーディネーターが販路拡大などの中小企業の経営者があまり得意としない部分まで支援してくれるのが特徴だ。また、ITコーディネーターやデザイナーなどの専門家派遣も利用できる。区内事業者だけでなく、区外企業でも利用できる。センターに相談に訪れたことで売り上げ拡大につながった企業も多くある。

また、恒例となった「第6回としまものづくりメッセ」も東池袋のサンシャインシティで3月7―9日に開催される。今回は101企業・団体が出展し、大規模な区内見本市として定着した。

また、かつて区内にあった手塚治虫氏や赤塚不二夫氏らが若いころに住んでいた「トキワ荘」を観光資源に生かす動きも出始めた。区では13年度にトキワ荘の跡地近くに資料館を兼ねた休憩所を設置する。2月1―2日には「東京マンガ・アニメカーニバルinとしま」を開催。漫画やアニメを活用した町おこしを行っている全国の15自治体がブースを出展した。また、シンポジウムやコスプレショーなどを行い、池袋の街が盛り上がりを見せた。

北区

ものづくり企業を顕彰

「北区きらりと光るものづくり顕彰」の顕彰式（2月）

東京都北区は区内の優れた企業を表彰する「北区きらりと光るものづくり顕彰」を開催した。2012年度はきらめき企業部門に5社、きらめきの技人部門に4人を選んだ。こうした取り組みは、区内企業の優れた企業や人をアピールする効果を持っている。区では昨年から区内企業に対応するスタッフを増やして、企業に対する経営支援を強化している。また、昨年4月に「北区ものづくり企業支援サイト」を開設し、区内の製造業の企業データベースを公開することで、区内中小企業の受発注機会の増大につなげたい考えだ。

また、区では13年度から区内中小企業への融資限度額を引き上げる。不況対策資金など4資金ではこれまでの800万円から1000万円に、不況対策借換資金では1200万円から1500万円に増額する。これまでは1000万円の融資資金が必要だった区内企業は利子補給のない都の融資あっせん制度を利用せざるを得なかったが、今回の融資額の増額により区の利子補給があるあっせん制度を受けられるようになる。

区内には数年後に東洋大学総合情報学部がキャンパスを新設し、移転する。これに合わせて、区内事業者が同学部を訪れるなどの取り組みも始まっており、区内でもいっそうのものづくりの発展に対して徐々に期待が高まっているようだ。

練馬区

アニメ産業に補助

区の公式アニメキャラクター「ねり丸」

東京都練馬区は区内に集積するアニメ産業の支援を強化している。日本初のカラー長編アニメ映画「白蛇伝」や「鉄腕アトム」が製作された日本のアニメ発祥の地として、区内には90カ所以上のアニメスタジオがあり日本一のアニメ産業集積地となっている。

区では中堅・大手のアニメ関連企業が区内に新たに立地するのに対して補助金を出しており、2011年、12年に1社ずつ中堅企業が区内に移転した。また、09年4月にアニメ産業交流協定を結んだフランス・アヌシー市と連携し、市内にある映像関連の専門学校の学生をインターン生として区内のアニメスタジオで受け入れている。

また、区内のアニメ事業者団体である練馬アニメーション協議会が国内外のアニメ見本市への出展に対して支援を行っている。

また、11年3月には区の公式アニメキャラクターとして「ねり丸」を制定した。12年度は、このねり丸を区内企業や団体に対して無償使用を認めている。区内企業や地域の活性化に一役買っている。

中野区

ICT・コンテンツ産業集積

再開発地区のオフィスビル

東京都中野区は大きな変わり目を迎えている。JR中野駅近くの警察大学校跡地の再開発地区に二つの大規模オフィスビルが建設された。ここには既に栗田工業が本社を構え、今春にキリンホールディングスが本社を移転する。再開発地区には4月に明治大学と帝京平成大学がキャンパスを新設し、来年には早稲田大学も進出する。ビジネスマンと学生の増加で昼間人口が大きく増えることが予想されている。

こうした変化をチャンスととらえ、新しい動きが生まれている。区内に多く集積するICT・コンテンツ企業と区などによる産学公連携のNPO団体「中野コンテンツネットワーク協会」が昨年7月に設立された。第1弾として、昨秋に区内を歩くARGイベントを開催した。区でもICT・コンテンツ産業とライフサポート産業を支援していくことを明確にしており、2013年度に産業振興に関する拠点を整備する。

また、区民の有志によって12年6月に「中野区観光協会」が設立された。行政が関与しない民間主導の観光協会は珍しく、その取り組みが注目されている。昨秋に8人の中野観光大使を選び、年末年始にライトアップ企画「冬のさくら　はじめの一本プロジェクト」を行った。今月には明治大学の学生と共同で中野駅周辺の新生活応援マップを発行するなど積極的に活動を行っている。

板橋区

産業見本市が活況

「第16回いたばし産業見本市」の会場（昨年11月開催）

東京都板橋区は東京23区で最も製造業が盛んなところだ。区でもそうした製造業を強力に支援している。毎年秋に開催している「第16回いたばし産業見本市」では、区内企業をはじめとした企業・団体が出展した。また、2011年に城北地区にあった東京都立産業技術研究センターが江東区へ移転したのに合わせ、区独自で「板橋産業技術支援センター」を開設した。センターには測定機器が整備されており、区内企業の心強い味方となっている。

区では十数年前から企業の経営品質への取り組みを進めている。「板橋経営品質賞」を開催しているほか、昨年からは「いたばし働きがいのある会社賞」を制定し、表彰している。また、男女ともに働きやすい環境が整備されている企業を表彰する「板橋区ワーク・ライフ・バランス推進企業表彰」を始めた。

また、板橋区産業振興公社ではロシアなど海外からの訪問団を受け入れて区内の優良企業の見学ツアーを行うなど、外国からの注目度も高まっている。また、区では産業観光を推進している。区内に点在する町工場に対して、見学できるような環境の整備に補助金を出していたほか、見学可能企業リストを区のホームページに掲載している。区民が近所の町工場を見学することは、住工共生問題の改善にもつながっている。

杉並区

産業振興へ新拠点

開設した「産業振興センター」

東京都杉並区は2012年5月に「産業振興センター」を開設した。センターには区の産業振興部門が移転。同じフロアには東京商工会議所杉並支部や杉並区商店会連合会、杉並産業協会などの区内商工団体が移転した。これまで別の建物にあった行政と団体が日常的に顔を合わせるようになったことで、官民一体となって区内企業の活性化と産業振興を押し進める。

また、区内にはアニメスタジオが多く集まり、区は古くからアニメ産業の振興に力を入れてきた。アニメ産業支援施策が見直しの対象となり、現在同施策の練り直しを進めている。

今後はアニメ施策を商店街の活性化に活用する方向で進めており、区内郊外にあるアニメーションミュージアムを市街地に移転することを検討している。

小規模事業者のための「マル経融資」をご存じですか？

融資限度額：1,500万円　利率：1.65%（2月20日現在）

担保も、保証人も、信用保証協会の保証も不要！！
低金利の国の融資制度です。設備資金には金利優遇制度があります。

※融資の条件等は変更となる場合があります。設備資金の金利優遇制度は平成25年3月31日の日本政策金融公庫受付分までとなります。

東京商工会議所 北支部

窓口専門相談（法律・税務）も実施しております。
会員・非会員の方問わず利用できます。

北区王子1-11-1　北とぴあ12階　☎03-3913-3000

板橋区産業振興公社は
事業者の経営革新
を積極的に支援します。

研究開発から販路開拓まで一貫して支援

研究開発支援
・新製品・新技術開発チャレンジ支援事業
・大学・研究機関との産学公連携事業

製品・技術PR
・板橋製品技術大賞
・いたばし産業見本市

販路開拓支援
・企業情報交流会
・広域販路開拓支援事業
・区外専門展示会出展支援

ハイライフいたばし

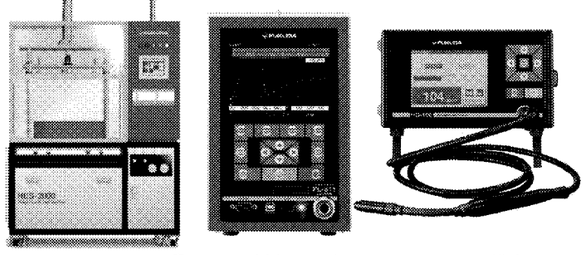
「ハイライフいたばし」は、中小企業等で働く方々のための福利共済制度です。
単独では従業員への福利厚生事業の実施が困難な中小企業等を対象に、宿泊補助や祝金給付など様々なサービスを会員価格で提供しております。
加入できる方：板橋区内で働く方　加入金：1人/200円　納付金：1人/月500円
申込・問合せ先　TEL：03（5375）8102　板橋区板橋1-55-16（板橋区立ハイライフプラザ内）

公益財団法人 板橋区産業振興公社
〒173-0004 東京都板橋区板橋2-65-6（板橋区情報処理センター5階）
TEL 03-3579-2175　URL http://www.itabashi-kohsha.com/

フクダが提案する「漏れ」計測製品

日々進化する高品質・高効率への要求に対し、幅広い計測手段と、長年培った測定環境整備技術を複合させ、お客様に最適な検査システムを提供致します。

ヘリウムリークテストシステム　エアリークテスタ　水素リークディテクタ



創立50周年　リークテストの総合メーカ
FUKUDA 株式会社フクダ
TEL 03-3577-1111 FAX03-3577-1002 http://www.fukuda-jp.com

明日の産業社会を担う

I.M.C

城北産業人クラブ

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1
住生日本橋小網町ビル
TEL：03-5644-7283
FAX：03-5644-7216

http://www.nikkan.co.jp/club/index.html